

阪急×阪神×東急の特別企画列車 「SDGsトレイン」2025年度第3クールがスタートします！

～「ごみを電気に 川崎産グリーン電力」をテーマとしたポスターを掲出します～

川崎市では、SDGs（持続可能な開発目標）の普及啓発を図るため、東急グループが運行する「SDGsトレイン」に本市の取組を紹介するポスターを掲出しています。

第3クールのポスター掲出は、令和7年10月13日（月）からスタート予定です。この第3クールでは「ごみを電気に 川崎産グリーン電力」をテーマにポスターを作成しました。

■ SDGsトレインとは ■

SDGsの認知度向上に向けて、東急グループと阪急阪神ホールディングス株式会社が東西で協働運行を行っている特別企画列車で、走行にかかる電力は実質的に100%再生可能エネルギーで賄われています。この取組は、令和2年に第4回「ジャパンSDGsアワード」にて特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。

令和2年9月8日から「SDGsトレイン2020」として運行を開始し、その趣旨に賛同する沿線自治体、国及び企業などが、各取組をポスターで表現して電車を飾っています。

■ 第3クールのポスターデザイン ■

令和7年10月13日（月）から令和8年1月11日（日）まで運行予定の第3クールでは、「ごみを電気に 川崎産グリーン電力」をテーマにポスターを作成しました。川崎市は、環境に配慮したまちづくりを進める「環境先進都市」として、再生可能エネルギーを地域で活用する取組を積極的に進めています。

Q. に入る言葉は？ ヒント：川崎市は、環境先進都市です。

 を電気に
川崎産グリーン電力

ごみは、ごみのままで終わる……わけではありません。
川崎市では、ごみを燃やしたときに出る熱を活用して電気をつくり、
このような再生可能エネルギーを市内すべての小中学校や公共施設に届け、市民の生活を照らしています。

「ごみを電気に」を合言葉に、
わたしたちは再生可能エネルギーの地産地消に取り組んでいます。

A. ごみ

KAWASAKI
SDGs
川崎市は、SDGs未来都市です。
川崎産グリーン電力

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

※車内の携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

■ S D G s トレインの運行概要 ■

運行期間 令和2年9月から令和8年3月まで（予定）

約3か月を1クールとしてポスター内容を変更しています。

運行区画 東横線、田園都市線、世田谷線、目黒線、東急新横浜線及び相互直通区間



詳しくは、東急グループ「S D G s トレイン特設 web サイト」を御覧ください。

<https://tokyugroup.jp/sdgs/>

【問合せ先】

川崎市総務企画局都市政策部

SDGs・国際連携推進担当 野本

電話 044-200-3669